

金曜コラム - 本日の金曜コラムは改編作業で一週間お休みです。ご了解いただければ幸いです。

01 毎日経済 2019.8.16

【 “2032 年の南北オリンピック→2045 年ワンコリア” 】

ムン・ジェイン大統領は光復節での祝辞を通じて、これまで着実に明らかにして来た`平和経済`構想のより具体的な`絵`と志向点も提示しました。15日ムン大統領は「2045年光復100周年には、平和と統一で一つになった国として世界の中にそびえ立つような基盤をしっかりと固めたい」と統一の目標時点を提示しました。光復100年を迎える2045年を統一された朝鮮半島の元年にするというビジョンを明らかにしたのです。彼はこの日、異例の統一の目標時点を明らかにし、平和経済を介して分断体制を克服し、経済強国建設を成し遂げ`誰も揺らすことができない国`に進み出ると重ねて強調しました。ムン大統領は`非核化達成・平和体制構築→平和経済で共同繁栄→統一で光復完成`につなげて行く構想を明らかにしました。

ムン大統領は祝辞前半で「私たちが望む国は莞島（訳注：ワンド、朝鮮半島南の島々）村の少女が蔚山で水素産業を勉強し、（北朝鮮の）南浦で創業し、モンゴルとシベリアで環境にやさしい車を輸出する国」と言及するなど、平和、経済についていくつかの例をひきました。これは朝鮮半島経済共同体の中で、南と北の青年が自由に行き来し、北東アジアを舞台に経済協力を広げながら大陸鉄道・道路を活用するようになるという意味に解釈されます。

ムン大統領は祝辞で2032年ソウル・平壤共同オリンピック誘致を統一の中間地点に設定し、`2045年統一論`をうち出しました。任期を満たして行きながら、統一問題について徐々に詳細かつ積極的な立場を明らかにする形です。彼は南と北がそれぞれの体制を維持しながら統一を成し、人口8000万の経済圏として結ばれた場合、韓国経済が世界6位に躍進するとの英国コンサルティング社CEBRの見通しも今回の祝辞に収めました。また、平和、経済と統一が少子高齢化と成長動力の低下などで困難を経験している韓国経済の突破口になるという論理を広げました。

ただし専門家の間では、ムン大統領がこの日に言及した`平和経済`関連の内容が多少曖昧であるとか、一部の内容が事実とは距離があるという指摘も出ました。

金ビョンヨンソウル大教授は「日本との争い拡大を自制しながらも断固として節制された対応の方向をとった点や、平和、経済の躍動感のある例を挙げながら方向性を見せてくれた部分など、全般的には肯定的に評価する」と言いました。ただし、金教授は「祝辞の中で、南北が統一されれば少子・高齢化問題が解決できるという話は現実的ではないだろう」と指摘しました。持続可能な人口水準を維持するには合計特殊出生率が2.3人レベルにならなければならないが、北朝鮮もすでに高齢化が進み始めたし、統一後にはさらに急激に進行することが考えられるとの事です。彼は「演説文で`北朝鮮内でも市場経済の導入が行われている`と言った内容があるが、これは`市場化`と`市場経済`が明らかに異なる概念であることを明らかにする必要がある」と言いました。

*出典：<https://www.mk.co.kr/news/politics/view/2019/08/632505/>

02 ソウル新聞 2019. 8. 14

【 スポーツトト 図体は大きくなったが... 中毒4年間3.4倍急増 】

最近、国内のギャンブル産業のうち、ひとときわ体育振興投票権（スポーツ・トト）のみ急成長しています。スポーツ・トト中毒も大きく増え、ギャンブル依存症の予防・治療のための対策が必要だという指摘が出ています。

13日ギャンブル産業統合監視委員会によると、国内ギャンブル産業（カジノ・競馬・競輪・競艇・宝くじ・スポーツトト・闘牛競技）の今年の売上高は22兆3904億ウォンで、1年間に3.1%増えました。ギャンブル産業別にみると、競馬（7兆5376億ウォン）の売上高が最も多かったが、増加率はスポーツトトが1位でした。スポーツトトの昨年売上高は4兆7428億ウォンで、前年比12.9%急増し、2009年（1兆7590億ウォン）と比較すると9年ぶりに2.7倍に増えました。

スポーツトトをする人が多くなり中毒も増えました。昨年、韓国の賭博問題管理センターを介して治療されたスポーツトト常習者は269人で、2014年（79人）の3.4倍に急増しました。同じ期間のカジノと競馬、競輪、競艇は中毒者が減り、宝くじと闘牛試合は中毒者が小幅増にとどまりました。賭博問題管理センターを経由しない中毒者まで含めると、実際の中毒者数はこれよりはるかに多いと推定されます。

イ・サンミン慶熙医療院精神保健医学教授は「ほとんどの中毒は、簡単に接することができることから始めて中毒性が強いものに移っていく。スポーツトトはコンビニでも簡単にでき、若年層を中心に賭博に少しずつ中毒になり、不法オンライン賭博に移っていく事例が多いのが問題」とし「スポーツトトはもちろん、賭博依存症を予防・治療するために投資する政府予算があまりにも少ない。地域別に治療・リハビリセンターを作るのは難しければ、ソウルなどに拠点センターでも造らなければならない」と言いました。

*出典：

https://go.seoul.co.kr/news/newsView.php?id=20190814017007&wlog_tag3=daum#csidx9a5d8afba5c7160a8e3da40529f9201

03 ハンギョレ 2019. 8. 14

【 KDI “平昌オリンピック施設の赤字幅が年74億に達する” 】

平昌オリンピック施設の今後の赤字幅が年間74億ウォンに達するという主張が出ました。国会文化体育観光委員会のキム・ヨンジュ議員（共に民主党）が13日、韓国開発研究院（KDI）に報告を受けた「オリンピック競技場の効果的な事後活用方案に関する研究」によると、平昌五輪の3つの施設（スライディングセンター・スピードスケート場・ホッケーセンター）の合計運営費が年間102億9300万ウォンに達すると推定されました。一方、この施設の収入は28億5100万ウォンにとどまり、74億4200万ウォンの赤字が予想されます。施設別の運営収支はスライディングセンターが26億1400万ウォンの赤字、スピードスケート21億3200万ウォンの赤字、ホッケーセンター26億9600万ウォンの赤字などです。

文体部は今回の研究用役結果に基づいて、今月中に江原道・企画財政部と平昌オリンピック競技場の活用方案と財源案を議論する予定です。現在、施設を所有している江原道は3つの施設について20億ウォンほどの国家支援を要請しています。江原道は提出した資料で年間運用費用を80億5100万ウォンと策定し

ています。

韓国開発研究院はしかし、江原道が策定した人件費や電気料金算定方式に誤りがあり、年間運用費用がさらに増えるという主張です。また、江原道が要求した国家支援金額についても意見を示し、5億4300万～9億9600万ウォン（国家代表トレーニング時間に基づいた差分）の国庫支援金額を提示しました。江原道が提示した国の支援金（大韓体育会の国家代表選手の支援金）には、国家代表以外に専門選手と一般人が含まれていたという指摘です。

キム・ヨンジュ議員は「国家代表トレーニング活用と、各種大会の誘致などの競技場事後活用方案は望ましい」と言いながらも「今はお互いに転嫁をやめて74億に達する赤字の解決策を出す時」と指摘しました。

2019.8.14

*出典：

http://www.hani.co.kr/arti/sports/sports_general/905591.html#csidx9367828731cf35daa325cf31ad1816

2

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 1485-3 スンジョンビル 305号

체육시민연대 서울시 서초구 서초동 1485-3 승정빌딩 305호

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net

ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳 : 佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jrlfep@gmail.com